

文学部言語表現学科 カリキュラムマップ・科目ナンバリング

文学部言語表現学科のカリキュラム					学修成果との関連 ◎：強く関連 ○：関連					
科目名	科目区分	配当年次	科目ナンバリング (ナンバリングルールについては別紙参照)	科目の学修成果	日本語及び日本語文化の諸側面に 関する基礎的な知識と理解を、体系的な形で有し、また理解し、説明することができる。	「聞く・読む・書く・話す」技術の 練習を通じて、情報を正確に理解し、的確に日本語で自身の考えや思いを表現することができる。	言語によるすべての表現に対して社会的・倫理的な適否を的確に判断することができる。	従来の文学のジャンルを超え、絵本、マンガ、映画など、言語による表現に伴う幅広い分野について、それらを学問の対象として捉え、客観的・科学的に分析することができる。	日本語で表現する機会においては、他者と良好な関係を築き、協働して目的を達成することができる。	卒業後も、次代への継承を意識しつつ、自ら種々のテーマを設定し、真理を探究するために自律的・創造的に研究・調査できるための資質を身につけている。
学科入門科目 (学科基礎科目)										
言語表現学入門Ⅰ	必修	1	A1-FYE-101-J	ふだん何気なく使用し、接している言語表現に対する基本的な問題意識が修得できる。	◎	○		○		
言語表現学入門Ⅱ	必修	1	A4-FYE-102-J	ふだん何気なく使用し、接している言語表現に対する基本的な問題意識が修得できる。	◎	○		○		
日本語学入門Ⅰ	必修	1	A4-JLN-101-J	日本語の多様な側面(音声・音韻、語彙、文法、表記など)を学問の対象として観察・分析する力がつく。	◎	○				
日本語学入門Ⅱ	必修	1	A4-JLN-102-J	日本語の多様な側面(音声・音韻、語彙、文法、表記など)を学問の対象として観察・分析する力がつく。	◎	○				
学科基礎科目										
会話技術論Ⅰ	必修	1	A4-FYE-103-J	会話の楽しさやポイントを知り、「パブリック・スピーキング」ができるようになる。	○	◎	◎			
会話技術論Ⅱ	必修	1	A4-FYE-104-J	会話の楽しさやポイントを知り、「パブリック・スピーキング」ができるようになる。	○	◎	◎			
文章技術論Ⅰ	必修	1	A4-FYE-105-J	基礎的なビジネス文書の種類とスタイルを習得できる。また、レポートや論文を書く際のルールが分かる。	○	◎				
文章技術論Ⅱ	必修	1	A4-FYE-106-J	基礎的なビジネス文書の種類とスタイルを習得できる。また、レポートや論文を書く際のルールが分かる。	○	◎				
専門基礎演習Ⅰ	必修	2	A4-SEM-201-J	少人数のクラスに分かれて自ら調べ、考え、発表するための訓練を積むことができる。	○	○	○	◎		◎
専門基礎演習Ⅱ	必修	2	A4-SEM-202-J	少人数のクラスに分かれて自ら調べ、考え、発表するための訓練を積むことができる。	○	○	○	◎		◎
学科基幹科目										
卒業研究ゼミナールⅠ	必修	3・4	A4-THE-301-J	対象から問題を見出し、解決のために自ら調査し、解決策を探り、それを文章(論文または制作物に対する解説)によって表現するという、一連の学問的経験が得られる。	○	○	○	◎	○	◎
卒業研究ゼミナールⅡ	必修	3・4	A4-THE-401-J	対象から問題を見出し、解決のために自ら調査し、解決策を探り、それを文章(論文または制作物に対する解説)によって表現するという、一連の学問的経験が得られる。	○	○	○	◎	○	◎
現代日本語論Ⅰ	選択必修	2	A4-JLN-201-J	自らの母語である現代日本語を学問の対象として見るということの意味が分かるようになる。	◎	○	○			
現代日本語論Ⅱ	選択必修	2	A4-JLN-301-J	自らの母語である現代日本語を学問の対象として見るということの意味が分かるようになる。	◎	○	○			
コミュニケーション論Ⅰ	選択必修	2	A4-JLN-202-J	「言語」とは何か、「コミュニケーション」とは何かについて、論理的に説明ができる。	○	◎	◎		○	
コミュニケーション論Ⅱ	選択必修	2	A4-JLN-302-J	コミュニケーションの「場」について、理論的な説明ができる。	○	◎	◎		○	
レトリック論	選択必修	2	A4-JLN-203-J	ただ「見たまま、感じたままに話す(書く)」のではなく、相手に対して効果的に訴えるための表現技巧が身につく。	○	◎				
社会生活とことば	選択必修	2	A4-JLN-204-J	社会の変化や場面、個人の違いが言語と密接に関連していることを知ることができる。	○		◎			
メディア・リテラシー	選択必修	2	A4-SOC-201-J	メディアの情報戦略を知ることで、情報に対する基礎体力を養うことができる。			◎	○		
編集の実際	選択必修	2	A4-CAE-201-J	本づくりの工程を体験することで、「出版」の世界を認識し、編集者の実際の仕事を理解することができる。		○	◎			○
読書の文化史	選択必修	2	A4-LIG-201-J	書物と社会との関係を通して、読書について考えることができる。	○			◎		
文字の文化史	選択必修	2	A4-LIN-201-J	身の回りにある文字に対し、常に興味関心をもって見る眼と、文字に対する適確な理解が養われる。	○			◎		
出版の文化史	選択必修	2	A4-SOC-202-J	各時代の出版の状況、出版物の形態、流通の様態、主要出版社の活動、読者の受容等々、さまざまな角度から日本の出版文化について理解できる。	○			◎		
情報の倫理	選択必修	2	A4-SOC-203-J	大衆文化への深い理解を養い、著作権についての基礎を理解することができる。			◎			○
広告文化論	選択必修	1~4	A4-SOC-204-J	終戦直後から現代までの代表的な商品とその宣伝をみることによって、宣伝の力を支える文化的な要因が分かる。	○			◎		
実践語術	選択必修	2	A4-JLN-205-J	難しいことをやさしく、やさしいことを深く、深いことを面白く話す語術が習得できる。	○	◎	◎		○	○
地域とことばⅠ	選択	2~4	A4-JLN-206-J	方言研究がどのような研究領域であるのかを理解することができる。	◎		◎			
地域とことばⅡ	選択	2~4	A4-JLN-303-J	方言研究が実践できるようになる。	◎		◎			
広告の現場	選択	1~4	A4-CAE-301-J	実際の広告事例を見ながら、広告業という職種を理解することができる。			◎			○

文学部言語表現学科のカリキュラム				学修成果との関連 ◎：強く関連 ○：関連						
科目名	科目区分	配当年次	科目ナンバリング (ナンバリングルールについては別紙参照)	科目の学修成果	日本語及び日本語文化の諸側面に関する基礎的な知識と体系的な理解を有し、また理解し、説明することができる。	「聞く・読む・書く・話す」技術の錬磨を経て、情報を正確に理解し、日本語で自身の考えや思いを表現・発信することができる。	言語によるすべての表現に対して社会的・倫理的な適否を的確に判断することができる。	従来の文学のジャンルを超え、絵本、マンガ、映画など、言語に伴う幅広い分野について、それらを学問の対象として捉え、客観的・科学的に観察・分析することができる。	日本語で表現する機会においては、他者と良好な関係を築き、協働して目的を達することができる。	卒業後も、次代への継承を意識しつつ、自らのテーマを設定し、真理を探究するために自律的に研究・調査するための資質を身につけている。
創作Ⅰ	選択	1~4	A4-JLN-103-J	小説と作文の違いを知り、自己の思想・感性の表現として、また他者の鑑賞にも堪えうる作品を書けるようになる。	○	◎	○			
創作Ⅱ	選択	1~4	A4-JLN-207-J	小説と作文の違いを知り、自己の思想・感性の表現として、また他者の鑑賞にも堪えうる作品を書けるようになる。	○	◎	○			
議論の技術	選択	2~4	A4-CAE-202-J	ディスカッションの体験を通して、根拠を客観的に検討し互いに理解を得ながら議論を進めることができる。		◎			○	
翻訳論	選択	1~4	A4-JLN-104-J	翻訳を通じて近現代日本の社会や歴史、文化の知識を身につけることができる。	○		◎	○		
学科展開科目										
話芸の世界	選択	2~4	A4-JLN-304-J	日本語の話芸について、分析的に説明することができる。	○	◎		◎	◎	
情報技術とことば	選択	2~4	A4-SCE-301-J	コンピュータ上の日本語処理の基礎的な仕組みを理解することができる。	○	◎	◎		○	
メディア史	選択	1~4	A4-SOC-101-J	近代以降の新聞メディアがいかに形成され、受容されていったかなど、その発展過程が分かる。	○		◎	○		
映像文化	選択	1~4	A4-SOC-102-J	さまざまな種類の映像形式にたししみ、映像作品を分析的に見る見方を学び、映像と社会との関係について批判的に考察する力がつく。	○			◎		
ジャーナリズム論	選択	2~4	A4-SOC-205-J	報道メディアの基本的な理念と役割を学びながら、報道の結果もたらされたさまざまな問題を検証し、各自がその問題点や、そのあり方を考える力を身に付ける。	○		◎	○		
広告制作	選択	2~4	A4-SOC-206-J	広告制作をととして、共感を得られる言語表現を身につける。		○	○	◎		○
大衆文化	選択	1~4	A4-ARL-101-J	マンガ、アニメ、SF映画などを学問の対象として見ることができる。また、著作権についての基礎的な理解が得られる。	○		○	◎		
芸能文化	選択	1~4	A4-ARL-102-J	歌舞伎と文楽の舞台を、劇場及び映像で見ることを通して、歌舞伎と文楽に関する基礎的な知識が得られる。	○			◎		
芸能とことば	選択	1~4	A4-ARL-103-J	日本の伝統芸能である「狂言」を講義と実技によって体感する経験が得られる。	○		◎	◎	○	
コンピュータ活用技術	選択	1~4	A4-SCE-101-J	レポート作成、ゼミの発表及び卒業論文に必要なパソコンの基礎的な技術が修得できる。	○	◎				
コンピュータで学ぶ文章作法	選択	1~4	A4-SCE-102-J	大学生活を送る上で必要な文書作成が、パソコン上でできるようになる。	○	◎				
言語表現学特論Ⅰ	選択	1~4	A4-JLN-105-J	日本の伝統芸能である「狂言」を理論と実技によって体感し、表現の視野を広げることができる。				◎		
言語表現学特論Ⅱ	選択	1~4	A4-JLN-208-J	日本語の文法的な性格を理解し、言語の性格を明らかにする際の手続きを応用して、未解明の問題に取り組むことができる。	○	◎	○			
言語表現学特論Ⅲ	選択	2~4	A4-JLN-209-J	(不開講)						
言語表現学特論Ⅳ	選択	2~4	A4-JLN-305-J	(不開講)						
言語表現学特論Ⅴ	選択	3・4	A4-JLN-306-J	(不開講)						
言語表現学特論Ⅵ	選択	3・4	A4-JLN-401-J	(不開講)						
書道Ⅰ	選択	1	A4-ASA-101-J	書写能力が向上し、書の表現、鑑賞、理論における美的感覚が養われる。	◎	○				
書道Ⅱ	選択	2	A4-ASA-201-J	古典を臨書してゆく中で、さまざまな用筆法・結構法を学習し、多くの書表現ができるような技術や知識が身につく。	◎	○				
書道史Ⅰ	選択	2~4	A4-FAH-201-J	中国の文字文化を理解した上で、それが日本にどのように入ってきたのか、どのように変化してきたのかを理解できる。	◎	○				
書道史Ⅱ	選択	2~4	A4-FAH-301-J	中国の文字文化を理解した上で、それが日本にどのように入ってきたのか、どのように変化してきたのかを理解できる。	◎	○				
書道Ⅲ	選択	3	A4-ASA-301-J	細字仮名の基本学習により、仮名の基礎的な表現ができる。	◎	○				
書論	選択	3・4	A4-ASA-302-J	書法・書体に関する概念と芸術論を理解することができる。	◎	○				
書学	選択	3・4	A4-ASA-401-J	能書家の書論を理解した上で、実際の作品にどの様にその考え方が活かされているのかが説明できるようになる。			○			
日本文学入門Ⅰ	選択	1~4	A4-JLT-201-J	日本文学研究に必要な基礎知識（基本文献とその探し方、書誌学の知識、くずし字の読み方など）が身につく。	◎	○				
日本文学入門Ⅱ	選択	1~4	A4-JLT-202-J	日本近代文学の誕生から確立に至る経緯を知ることができる。	◎	○				
日本文学史Ⅰ	選択	1~4	A4-JLT-203-J	上代から近世までの古典文学を歴史的観点から総括的に把握できる。	◎	○				
日本文学史Ⅱ	選択	1~4	A4-JLT-204-J	上代から近世までの古典文学を歴史的観点から総括的に把握できる。	◎	○				
国語表現法Ⅰ	選択	1~4	A4-FYE-201-J	国語の表現に関する様々なスキル（言語コミュニケーション、文章作成法、論理的読解、資料調査法）が修得できる。	○	◎			◎	
国語表現法Ⅱ	選択	1~4	A4-FYE-202-J	国語の表現に関する様々なスキル（言語コミュニケーション、文章作成法、論理的読解、資料調査法）が修得できる。	○	◎			◎	

文学部言語表現学科のカリキュラム				学修成果との関連 ◎：強く関連 ○：関連						
科目名	科目区分	配当年次	科目ナンバリング (ナンバリングルールについては別紙参照)	科目の学修成果	日本語及び 日本語文化 の諸側面に 関する基礎 的な知識と 体系的な形 で理解し、 説明するこ とができる。	「聞く・読 む・書く・ 話す」技術 の練習を基 礎として、 正確に理解 し、的確に 日本語で自 身の考えや 思いを表現 ・発信する ことができる。	言語による すべての表 現に対して 社会的・倫 理的な適否 を的確に判 断することが できる。	従来の文学 のジャンル を超え、絵 本、マンガ 、映画など による表現 を伴う幅広い 分野について 、それらを 学問の対象 として捉え 、客観的 ・科学的に 観察・分析 することができる。	日本語で表 現する機会 には、他者と 良好な関係 を築き、協 働して目的 を達成するこ とができる。	卒業後も、 次代への継 承を意識し つつ、自ら 種々のテーマ を設定し、真理 を探究するた めに自律的 に研究・調査 するための資 質を身につ けている。
図書の世界	選択	1~4	A4-LIH-101-J	和装本の実物にふれ、袋綴本を作ることで、昔の本に慣れ親しむことができる。				◎		
日本語文法Ⅰ	選択	2~4	A4-JLN-307-J	学校教育において取り上げる「文法」の意義と問題点が分かる。	◎					
日本語文法Ⅱ	選択	2~4	A4-JLN-308-J	学校教育において取り上げる「文法」の意義と問題点が分かる。	◎					
日本語音声学Ⅰ	選択	2~4	A4-JLN-309-J	日本語の「音」に関する体系的な知識・理解が得られる。	◎					
日本語音声学Ⅱ	選択	2~4	A4-JLN-310-J	日本語の「音」に関する体系的な知識・理解が得られる。	◎					
上代文学を読むⅠ	選択	2~4	A4-JLT-301-J	上代文学諸作品を読むことで、上代文学に対する理解が深まる。	◎					◎
上代文学を読むⅡ	選択	2~4	A4-JLT-302-J	上代文学諸作品を読むことで、上代文学に対する理解が深まる。	◎	○				◎
中古文学を読むⅠ	選択	2~4	A4-JLT-303-J	中古文学の諸作品を読むことで、中古文学における「虚構」と「歴史」の方法が把握できる。	◎		○			◎
中古文学を読むⅡ	選択	2~4	A4-JLT-304-J	中古文学の諸作品を読むことで、中古文学における「虚構」と「歴史」の方法が把握できる。	◎	○				◎
中世文学を読むⅠ	選択	2~4	A4-JLT-305-J	中世文学諸作品と、他の文芸・文化との関係が分かる。	◎	○				◎
中世文学を読むⅡ	選択	2~4	A4-JLT-306-J	中世文学諸作品と、他の文芸・文化との関係が分かる。	◎	○				◎
近世文学を読むⅠ	選択	2~4	A4-JLT-307-J	近世文学作品を丁寧に読み込む力が身につく。	◎	○				◎
近世文学を読むⅡ	選択	2~4	A4-JLT-308-J	近世文学作品を丁寧に読み込む力が身につく。	◎	○				◎
近代文学を読むⅠ	選択	2~4	A4-JLT-309-J	近代文学の諸作品を読むことで、近代文学についての基本的な知識と研究方法が身につく。	◎	○				◎
近代文学を読むⅡ	選択	2~4	A4-JLT-310-J	近代文学の諸作品を読むことで、近代文学についての基本的な知識と研究方法が身につく。	◎	○				◎
中国文学を読むⅠ	選択	2~4	A4-CHL-301-J	日本語や日本文学の背景には、漢文がかかわっていることが少なくない。受講によって、漢文読解力が向上する。	◎	○				◎
中国文学を読むⅡ	選択	2~4	A4-CHL-302-J	日本語や日本文学の背景には、漢文がかかわっていることが少なくない。受講によって、漢文読解力が向上する。	◎	○				◎
中国文学を読むⅢ	選択	3・4	A4-CHL-401-J	漢詩を理解し、鑑賞する力を養うことができる。	◎	○				◎
中国文学を読むⅣ	選択	3・4	A4-CHL-402-J	漢詩を理解し、鑑賞する力を養うことができる。	◎	○				◎
日本文化史	選択	1~4	A4-JPH-201-J	日本の思想文化を通じて、古代以来展開した、さまざまな思想・宗教の世界観を理解することができる。	◎					
民俗芸能論	選択	1~4	A4-CAN-201-J	日本の祭りや民俗芸能を通して、日本人および自分と伝統的社会とのつながりを考えることができるようになる。				◎		
日本思想史	選択	2~4	A4-HIT-301-J	江戸時代の人々の意識・思想を、書物・出版を通し読み解くことができる。		○				
郷土の民俗特論	選択	2~4	A4-CAN-301-J	愛知県下における信仰の広まりに伴う様々な民俗事象について、歴史的意義を理解することができる。			◎	◎		
コミュニケーション・スキルⅠ	選択	1~4	A4-FYE-107-J	対人コミュニケーションの理論を学び、練習し、考えることを通して、コミュニケーション・スキルの基礎(コツ)が身につく。	○	◎			◎	
コミュニケーション・スキルⅡ	選択	1~4	A4-FYE-108-J	対人コミュニケーションの理論を学び、練習し、考えることを通して、コミュニケーション・スキルの基礎(コツ)が身につく。	○	◎			◎	
図書館概論	選択	1~4	A4-LIH-102-J	図書館と本について知識を広め、図書館サービスと司書の仕事について理解することができる。	◎			◎		○
図書館情報資源概論	選択	2~4	A4-LIH-201-J	多様な図書館資料の形態と特徴が理解できる。また、出版事情に関する知識や資料収集における情報源に留意しながら、図書館資料全体を見る見方が身につく。	◎		○			
歴史資料と博物館	選択	2~4	A4-CAS-201-J	歴史資料の収集、整理保存行為が博物館の調査研究活動と一体の行為として存在することを理解することができる。				◎		○
博物館概論	選択	2~4	A4-CAS-202-J	博物館成立に至る歴史過程を通し、博物館学成立の根拠を理解することができる。				◎		○
地域と歴史文化情報	選択	3・4	A4-CAS-301-J	博物館からの情報発信・情報活用や博物館への情報提供に関し、その実際とともに基本的な考え方を理解することができる。				◎		○
仕事のコミュニケーション	選択	2~4	A4-CAE-203-J	あらゆる職業で求められる基本的なコミュニケーション能力の修得および、就業意識を向上することができる。		○			○	◎
インターンシップ	選択	2~4	A4-CAE-204-J	実際の仕事を体験する中で、社会や経済の仕組みを理解しながら、自らの可能性を確かめることができる。						○
海外留学科目	選択	2~4	A4-FLE-201-J	国際体験を通し、実践的な語学力の向上と国際理解力やコミュニケーション能力を得ることができる。						○
短期海外研修	選択	2~4	A4-FLE-202-J	実践的な語学力の向上や、国際感覚を身につけることができる。						○

文学部言語表現学科のカリキュラム				学修成果との関連 ◎：強く関連 ○：関連						
科目名	科目区分	配当年次	科目ナンバリング (ナンバリングルールについては別紙参照)	科目の学修成果	日本語及び日本語文化の諸側面に関する基礎的な知識と体系的な形で理解を、また説明することができる。	「聞く・読む・書く・話す」技術の練習を継続して、情報を正確に理解し、日本語で自身の考えや思いを表現・発信することができる。	言語によるすべての表現に対して社会的・倫理的な適否を的確に判断することができる。	従来の文学のジャンルを超え、絵本、マンガ、映画など、言語による表現に伴う幅広い分野について、それらを学問の対象として捉え、客観的・科学的に観察・分析することができる。	日本語で表現する機会においては、他者と良好な関係を築き、協働して目的を達成することができる。	卒業後も、次代への継承を意識しつつ、自らのテーマを設定し、真理を探究するために自律的・創造的に研究・調査するための資質を身につけている。
書道Ⅳ	自由	4	A4-ASA-402-J	仮名作品の制作を通して、仮名の魅力が理解できる。		◎				
書道Ⅴ	自由	4	A4-ASA-403-J	書作品の表現方法を、書体の違いや用具用材の違い、古典の筆法や書風の違いなどの面から学習し、実作に活かす力を身に付ける。		◎				
司書課程科目										
生涯学習概論	—	1-4	A4-CAS-101-J	身近な実践事例等を通して、生涯学習の現状や課題等を認識することができる。						
図書館情報技術論	—	2-4	A4-LIH-202-J	図書館業務に必要な基礎的な情報技術を修得するために、コンピュータ等の基礎、図書館業務システム、データベース、検索エンジン等について理解する。						
図書館制度・経営論	—	2-4	A4-LIH-203-J	図書館に関する法律、図書館の組織・職員・施設などについて理解し説明することができる。						
図書館サービス概論	—	2-4	A4-LIH-204-J	図書館サービスの理念と構造を理解し、課題と問題点について考察を深めることができる。						
情報サービス論	—	2-4	A4-LIH-205-J	図書館における情報サービスの意義や役割を理解し、参考図書やデータベース等の各種情報源の特徴と検索方法を習得する。						
児童サービス論	—	2-4	A4-LIH-206-J	児童サービスの意義と基本及び特化された児童サービスの特性を理解し説明することができる。						
情報サービス演習	—	3-4	A4-LIH-301-J	各種レファレンスツール（冊子体 データベース）の特性を知り、使いこなすことができる。						
情報資源組織論	—	2-4	A4-LIH-207-J	日本十進分類法（NDC）、日本目録規則（NCR）を理解し、情報資源を組織化することができる。						
情報資源組織演習	—	3-4	A4-LIH-302-J	NDCを適用して書架案内ができる。NCRを適用し記述ユニットが作成できる。						
図書館基礎特論	—	3-4	A4-LIH-303-J	著作権法と図書館のかかわりを理解し説明することができる。						
図書館情報資源特論	—	3-4	A4-LIH-304-J	図書館資料には様々な種類があり、特徴がある。それぞれについて概ね説明できること。						
図書・図書館史	—	3-4	A4-LIH-305-J	図書館と本の歴史について知識を深め、「和古書」すなわち江戸時代以前の本についての知識を得る。						